

年度 2009 学期 前期	曜日・校時 火2	必修選択 選択	単位数 2
授業科目/(英語名)	生体の構造(器官の構造、機能と疾病)/ Structural and Molecular Biology (Structure, function and disease of human organs)		
対象年次 1, 2年次	講義形態 講義	教室	
対象学生(クラス等) 全学部	科目分類 人間科学科目		
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員: 中山敏幸/Eメールアドレス:toshi-n@nagasaki-u.ac.jp/研究室:医学部原研病理/TEL:095-819-7107/オフィスアワー:木曜日 13:00-17:00			
担当教員(オムニバス科目等)	中島正洋 平川 宏		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 (500文字) 授業のねらい: 健康への関心が高まっている中、社会人として人体についての基礎的な知識の学習は意義深いと考える。本授業では、人体の各臓器の基本的な構造、生理機能を学び、疾病の発生やその病態を理解することを目的とする。 授業方法: 授業計画に従った、資料や写真スライド、組織標本等を用い、講義を行う。 授業到達目標: 人体の各臓器の機能と組織構造を理解し、一般的な疾病における組織構造の変化を説明できるようにする。			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) (1300文字) 授業内容(概要) 人体各器官(呼吸器・循環器・消化器・脳神経・泌尿器・生殖器・リンパ・造血器・皮膚・感覚器)の構造を説明し、疾病の発生機序を病理組織学的に解説する。 第1回 呼吸器の構造と疾病(1):正常組織構造と機能、良性疾患の組織変化 第2回 呼吸器の構造と疾病(2):悪性腫瘍の組織構造 第3回 循環器の構造と疾病(1):正常組織構造と機能、良性疾患の組織変化 第4回 循環器の構造と疾病(2):悪性腫瘍の組織構造 第5回 消化器の構造と疾病(1):正常組織構造と機能、良性疾患の組織変化 第6回 消化器の構造と疾病(2):悪性腫瘍の組織構造 第7回 脳神経系の構造と疾病(1):正常組織構造と機能、良性疾患の組織変化 第8回 脳神経系の構造と疾病(2):悪性腫瘍の組織構造 第9回 泌尿器系の構造と疾病(1):正常組織構造と機能、良性疾患の組織変化 第10回 泌尿器系の構造と疾病(2):悪性腫瘍の組織構造 第11回 生殖器の構造と疾病:正常組織構造と機能、良性疾患および悪性腫瘍の組織変化 第12回 リンパ・造血器の構造と疾病:正常組織構造と機能、良性疾患および悪性腫瘍の組織変化 第13回 内分泌系の構造と疾病:正常組織構造と機能、良性疾患および悪性腫瘍の組織変化 第14回 皮膚・感覚器の構造と疾病:正常組織構造と機能、良性疾患および悪性腫瘍の組織変化 第15回 全授業の総括			
キーワード	人体、臓器、組織、疾患		
教科書・教材・参考書	教材:写真スライド、組織標本、参考資料、プリントを使用 参考書:標準組織学(医学書院)、外科病理学(文光堂)		
成績評価の方法・基準等	レポート100% レポートを毎回提出させる。レポートの評価基準は、与えられたテーマについて調査し、適切な専門用語を用い説明できることを判断基準とする。		
受講要件(履修条件)	なし		
本科目の位置づけ/学習・教育目標	人体組織構造や疾病発生機序は医療領域のみならず一般科学として基盤となる知識である。大学一般教育として各学生の今後の学習・研究に役立つ知識を習得させる。		
備考(準備学習等)	基本的な人体組織構造の知識の復習		